

第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

高齢者・介護保険に関するニーズ調査

(日常生活圏域ニーズ調査)

調査の目的	高齢者の意識や生活状況、保健・福祉サービスの利用状況、身体機能の状況、認知症のリスク要因や世帯状況など、地域の課題を把握し「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定のための基礎資料とすることを目的とします。
調査の名称	高齢者・介護保険に関するニーズ調査（日常生活圏域ニーズ調査）
調査対象地域	市内全域
日常生活圏域数	1圏域
調査方法	無記名調査で行い、郵送による配布・回収
調査対象者	①65歳以上の一般高齢者（要介護認定者を除く） ②要支援1から要介護5認定者の在宅サービス利用者
調査票配布数	1,500票（抽出率約22.43%）
抽出方法	無作為抽出
調査項目	厚生労働省が全国統一調査として示した「日常生活圏域ニーズ調査」の項目を基本に実施します。
回収率	見込50%

※日常生活圏域設定の考え方

日常生活圏域は、概ね30分以内にサービスが提供される範囲を基本としており、地理的条件、人口、交通事情、社会的条件、介護施設の整備状況を総合的に勘案して市町村が設定します。富良野市は第3期計画から市内全域を1つの圏域に設定し、地域密着型サービス等の介護基盤整備を行ってきました。また、地域包括支援センターは、日常生活圏域ごとに設置される高齢者支援の拠点です。富良野市では市直営の地域包括支援センターを1箇所設置しています。

日常生活圏域は、地域包括ケアシステムを構築する単位を想定して設定されます。地域包括支援センターを中心に、医療、介護、予防、住まい、認知症ケア、相談体制、生活支援サービスを切れ目なく提供できる体制を整備するため、市内全域を1つの圏域として設定します。